

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
医療保健学部	看護学科	夜・通信	0	0	21	21	13	
	理学療法学科	夜・通信			22	22	13	
	作業療法学科	夜・通信			20	20	13	
	臨床工学科	夜・通信			20	20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ http://univ.aino.ac.jp/life/learning-support.php
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医師 私立病院 院長	2018. 4. 1～ 2021. 3. 31	医師としての専門的な実務経験を有しており、本法人の医療人養成体制に対する意見や、組織運営体制へのチェック機能等を期待している。
非常勤	公認会計士	2016. 11. 28～ 2019. 11. 27	公認会計士としての専門的な実務経験を有しており、財務面に対する意見や、組織運営体制へのチェック機能等を期待している。
非常勤	税理士 会計事務所 所長	2018. 4. 1～ 2021. 3. 31	税理士としての専門的な実務経験を有しており、財務面に対する意見や、組織運営体制へのチェック機能等を期待している。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全授業科目のシラバスを大学ホームページのシラバス公開システムにより広く社会に公表している。シラバスは、次年度の授業担当者が確定後、例年1月中に授業担当者による原稿を教務課で取りまとめ、授業担当者以外の教員による内容のチェック、教務課による形式、不足事項等のチェックを経た後、4月1日までにすべて公表する。シラバス公開システムの利用法、検索の仕方等については、4月当初のガイダンスにおいて全学生に説明している。</p> <p>〈シラバスに記載している主要な内容〉</p> <p>科目の概要、学習到達目標、授業の内容(各回次ごと)、授業方法、事前・事後学習、成績評価の方法、教科書、参考書、連絡先、オフィスアワー</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページ</p> <p>https://cp-aino-univ.aino.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の学修の評価は、シラバスに記載されている「成績評価の方法」により厳密に行う。AA～Cのグレードポイントで評価し単位授与を行い、D評価または出席不良等による評価対象外のF評価については単位不認定としている。シラバスで示す評価方法は、科目の目標、実施方法により筆記試験、口述試験、レポート、発表等適切な方法を設定し、それらを組み合わせて評価する場合はその数量的な割合を明示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学では、シラバスにより示された評価基準に従って、AA、A、B、C、D(不可)の5段階で評価を行い、AAからDまでを4から0までのポイント(GP:Grade Point)に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で除した平均点をGPAとして設定している。GPAは客観的な指標として、学生自らの学修状況の把握(各期の修得単位通知書に記載)、教員による学習指導、履修登録科目数の上限数、資格課程の履修条件などに用いている。 GPAの計算方法、算出例は、履修中止科目などの諸注意を含め、学生便覧および大学ホームページで広く社会に公表している。また、GPAの分布状況は、学部および学科単位で集計し、学部教務委員会、各学科で把握している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	学生便覧、 ホームページ http://univ.aino.ac.jp/info/06.php
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)として学部および各学科で定め、学生便覧および大学ホームページで公表している。ディプロマ・ポリシーには、①基盤的知識・技能、②応用・実践能力、③倫理観・行動力、④グローバル的思考力・判断力、⑤生涯にわたる専門性の練磨の5項目について、学部の共通方針と各学科の専門分野における方針を明示している。学修成果の可視化のために、毎年学修行動調査を行いその結果をホームページで公表している。2019年度からは、学位プログラムの視点から特定科目の学修成果の評価を実施し、ディプロマ・ポリシーの検証を開始している。 卒業認定手続きは、教育課程に記載されている卒業要件単位を各学科、学部教務委員会で確認した後、教授会で審議し、学長が認定する。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧、 ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	藍野大学
設置者名	学校法人 藍野大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/
財産目録	ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/
事業報告書	ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/
監事による監査報告(書)	ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書 対象年度:2019年度)
公表方法:ホームページ http://www.aino.ac.jp/info/
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ http://univ.aino.ac.jp/oneself/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ http://univ.aino.ac.jp/oneself/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 : 医療保健学部
教育研究上の目的 (公表方法: 学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/idea.php)
(概要) 保健・医療・福祉に係る幅広い知識と技能を教授し、豊かな人間性、倫理観と最良の適応力と創造性を備えた、実践・教育・研究の場で活躍できる保健・医療・福祉人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php)
(概要) 医療保健学部では、教育目標に照らし、学部および学科で定めた以下のような能力・資質を身につけることを、卒業認定、および、学士の学位授与の方針とする。各学科で定めた卒業要件単位の修得をもって、系統的な履修にもとづく学位授与方針の達成とみなす。 【Ⅰ. 基盤的知識・技能】医療の基礎的知識や技能に加えて、人や文化、社会情勢、科学技術、環境等に関する基本的な教養を修得し、それらの素養を基盤に論理的に思考し、書き、話すことができる。 【Ⅱ. 応用・実践能力】専門的医療分野の知識、情報、データを活用する実践力を体得し、他者とのコミュニケーションを円滑に進められ、チーム医療の一員として職務を遂行できる。 【Ⅲ. 倫理観、行動力】医療人として必要な倫理観、対人愛、行動力を持ち、人間の多様性と共生についての理解ができています。 【Ⅳ. グローバル的思考力・判断力】21世紀に生きる市民として、グローバルな視点で創造的に思考、判断するための基盤 (情報分析力やコミュニケーション能力) が備わっている。 【Ⅴ. 生涯にわたる専門性の練磨】医療専門職として生涯学び続け、常に日進月歩の知識を取り入れ職務に反映しようとする心構えができています。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php)
(概要) 教育課程の編成は、「基礎科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」に大区分され、各専門職の指定学校規則に定められた科目・単位を含んでいる。 「基礎科目」においては、基盤知識と教養に関する科目を体系的に配置する。初年次教育科目では、医療人としての基本的な態度、ライティングや討論および情報社会における基本的なルールなどについて学習する。 さらに「基礎科目」・「専門基礎科目」では、保健・医療・福祉に関連する科目および専門分野に必要な医学の基礎知識を学ぶとともにシンメディカル論などチーム医療実践の素地を形成する科目を配置する。同時に、倫理観や主体的行動力の醸成のための教養教育科目を配置する。また、国際医療研修や国際比較福祉論などグローバルマインドを育成する科目や、彼我を相対的に判断するために、日本の歴史や伝統文化を学ぶ科目を配置する。 「専門科目」においては、各専門職に求められる知識技能にとどまらず、チーム医療の応用を学ぶ科目および研究方法の修得と研究の進め方を体験する卒業研究科目を配置する。教育課程の実施に当たっては、「基礎科目」から「専門科目」までアクティブラーニングなど主体的学習方法、および問題解決学習方法 (PBL) を積極的に取り入れる。また、講義・演習・実習それぞれの授業形式で必要とされる実質的な授業時間、および授業外で適切な課題を明示したうえで、必要な自学自習時間を確保する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：入試ガイド 電話・インターネットなどを
通して資料請求する、ホームページ <http://univ.aino.ac.jp/summary/policies.php>、等）

（概要）

【看護学科】

医療保健学部看護学科では、卒業後に看護師（一部は保健師、養護教諭、高等学校教諭）に従事することを前提に、一般教養を高め専門知識を学ぶことを通じ、医療専門職に求められる知識技能の習得を図る。それと同時に、入学時における医療専門職に就く動機をさらに強くし、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨く。以上の内容を踏まえ、以下の資質、能力を備えた者を入学者として求める。（1）日本の医療の現実と看護の重要性について理解している人（2）人々の健康や福祉の向上に関心の高い人（3）人の話をよく聞くことができ、かつ自分の気持ちを相手にわかるように示せる人

【理学療法学科】

医療保健学部理学療法学科では、卒業後に理学療法士として従事することを前提に、一般教養を含めた幅広い知識を身につけ、医学的知識や理学療法分野の専門知識や技能の習得を図る。対象者やその家族と倫理的な態度で接し、良好な関係を築くことができる能力を養う。また、相手の立場に立ち、他職種と協働し、基本的な理学療法を対象者に提供することができる能力を磨く。以上の内容を踏まえ、以下の資質、能力を備えた者を入学者として求める。（1）人との関わりを大切に考え、明るく、思いやりを持って相手に接することができる人（2）他者の話を聞き、その話を理解し、自分の考えを論理的に表出でき、他者とやり取りができる人（3）自分の言動に責任を持ち、周りとの協調的に動ける人（4）理学療法士としての責任を理解し、学習や技術の習得に励む意欲を持つ人（5）自己管理能力を持っている人

理学療法学科の各教員はそれぞれの専門分野を通して社会とつながっている。入学者はこの教員の窓を通じて、大学以外の社会や世界に飛び出していく気概と資質を持っていること。

【作業療法学科】

医療保健学部作業療法学科では、卒業後に作業療法士に従事することを前提に、一般教養を含めた幅広い知識に興味を持ち、意欲をもって積極的に思考判断する能力を養う。また、チーム医療に対応できる倫理性と協調性を有し、他職種との連携を図ることができる能力を養う。以上の内容を踏まえ、以下の資質、能力を備えた者を入学者として求める。（1）日本の医療の現状と課題に興味・関心を持てる人（2）人々の健康や福祉に関わる幅広い知識に興味・関心を持ち意欲をもって積極的に考えることができる人（3）人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる豊かなコミュニケーション能力を持つ人

【臨床工学科】

医療保健学部臨床工学科では、卒業後に臨床工学技士として従事することを前提に、一般教養を高め、臨床工学の専門基礎科目・専門科目を学び専門知識や技能の習得を図る。また、入学時における臨床工学技士をめざす動機をさらに強め、医療人としての倫理観、責任感、対人愛の規範や感性を磨く。以上の内容を踏まえ、以下の資質、能力を備えた者を入学者として求める。（1）多くのことに知的好奇心を持ちチャレンジ精神と探求心を持つ人（2）責任感があり他者を思いやり実行力のある人（3）医学と工学に関心があり医療分野で社会に貢献したいという意欲を持ち、創造的に考え行動しようとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ <http://univ.aino.ac.jp/info/02.php>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1 人	—					1 人
医療保健学部	—	22 人	13 人	22 人	11 人	13 人	81 人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		86 人					87 人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページ http://univ.aino.ac.jp/info/03.php					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、内部質保証委員会の下部組織として FD 運営部会を設置している。</p> <p>2018 年度における FD 運営部会の主な活動内容としては、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の質的状況の把握と改善に向けた取り組みとして、授業アンケート内容および方法の再検討、教員間ピアレビュー方法の再検討、授業の取り組みを評価するシステムの検討（Best Lecturer 賞の設置と選定方法の検討）、文部科学省の改訂方針に沿ったシラバス作成方法の検討を行った。 2. 研究倫理教育研修会および FD または FSDS 研修会として、4 つのテーマに基づき研修会を開催した。 <p>2019 においては、上記「1. 教育の質的状況の把握と改善に向けた取り組み」の各項目について、新たな実施方法や改善点についてさらなる検討を行っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医療保健学部	250 人	273 人	109.2%	984 人	1,107 人	112.5%	2 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	250 人	273 人	109.2%	984 人	1,107 人	112.5%	2 人	0 人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医療保健学部	249 人 (100%)	0 人 (0 %)	227 人 (91.2%)	22 人 (8.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	249 人 (100%)	0 人 (0 %)	227 人 (91.2%)	22 人 (8.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
独立行政法人機構労働者健康安全機構 関西ろうさい病院、社会医療法人仙養会 北摂総合病院、 医療法人恒昭会 藍野病院、滋賀医科大学医学部附属病院、社会医療法人美杉会 男山病院、 社会医療法人平成記念会 平成記念病院、医療法人(社団)有恵会 香里ヶ丘有恵会病院、 医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院、社会医療法人純幸会 関西メディカル病院、 医療法人朋愛会 朋愛病院、医療法人芙蓉会 南草津病院、社会医療法人協和会 加納総合病院、 社会医療法人大道会 森之宮病院、社会医療法人誠光会 草津総合病院、医療法人康仁会 西の京病院 (備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
医療保健学部	289 人 (100%)	220 人 (76.1%)	39 人 (13.5%)	44 人 (15.2%)	0 人 (0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	289 人 (100%)	220 人 (76.1%)	39 人 (13.5%)	44 人 (15.2%)	0 人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>全授業科目のシラバスを作成し、その中に授業の方法、内容、授業計画等を記載している。シラバスは、大学ホームページのシラバス公開システムにより広く社会に公表している。また、学生においては大学のポータルシステムからも閲覧可能であり、シラバス公開システムの利用法、検索の仕方等については、4月当初のガイダンスにおいて全学生に説明している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>卒業の認定については、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)として学部および各学科で定め、学生便覧および大学ホームページで公表している。ディプロマ・ポリシーには、①基盤的知識・技能、②応用・実践能力、③倫理観・行動力、④グローバル的思考力・判断力、⑤生涯にわたる専門性の練磨の5項目について、学部の共通方針と各学科の専門分野における方針を明示している。学修成果の可視化のために、毎年学修行動調査を行いその結果をホームページで公表している。2019年度からは、学位プログラムの視点から特定科目の学修成果の評価を実施し、ディプロマ・ポリシーの検証を開始している。</p> <p>卒業認定手続きは、教育課程に記載されている卒業要件単位を各学科、学部教務委員会で確認した後、教授会で審議し、学長が認定する。</p>																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">医療保健学部</td> <td>看護学科</td> <td>129 単位</td> <td>有・無</td> <td>50 単位</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>126 単位</td> <td>有・無</td> <td>50 単位</td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td>127 単位</td> <td>有・無</td> <td>50 単位</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td>130 単位</td> <td>有・無</td> <td>50 単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	医療保健学部	看護学科	129 単位	有・無	50 単位	理学療法学科	126 単位	有・無	50 単位	作業療法学科	127 単位	有・無	50 単位	臨床工学科	130 単位	有・無	50 単位
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)																		
医療保健学部	看護学科	129 単位	有・無	50 単位																		
	理学療法学科	126 単位	有・無	50 単位																		
	作業療法学科	127 単位	有・無	50 単位																		
	臨床工学科	130 単位	有・無	50 単位																		
<p>GPAの活用状況（任意記載事項）</p> <p>公表方法： 学生便覧、ホームページ http://univ.aino.ac.jp/info/06.php</p>																						
<p>学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)</p> <p>公表方法：ホームページ http://univ.aino.ac.jp/shikaku/qualification.php http://univ.aino.ac.jp/file/life/inspection.pdf http://univ.aino.ac.jp/info/06.php http://univ.aino.ac.jp/info/09.php</p>																						

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ <http://univ.aino.ac.jp/info/07.php>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
医療保健 学部	看護学科	1,150,000 円	250,000 円	入学初年度及び在 学 5 年目以上 450,000 円 在学 2～4 年目 550,000 円	施設設備費：300,000 円 実験実習費： 入学初年度及び在学 5 年目以上 150,000 円 在学 2～4 年目 250,000 円
	理学療法学科				
	作業療法学科				
	臨床工学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>全学科において担任制度を設け、各学年に複数名の担任を配置し、学生の学修状況や生活状況等の把握に努めている。</p> <p>また、学習支援として、各学科で必要に応じカリキュラム外に少人数グループ制、または個別の学習支援を行っている。</p> <p>さらに国家試験受験支援として、各学科において模擬試験や少人数制による指導を中心に、クラス全体での講義や個別指導等、様々な状況に合わせて早期より支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>病院・クリニック・老人保健施設等を対象とした就職説明会を実施している。就職指導としては、スタートアップセミナーや履歴書・面接対策講座を外部から講師を招き実施している。また、個別にエントリーシート・履歴書の記入や小論文対策、身だしなみ・所作を含めた就職面接指導も実施している。学生が就職活動全般をスムーズに行えるように、就職指導委員会において、企画・指導・情報収集などについて審議している。</p> <p>また、平成 26 年度より藍野大学求人システム“AINONAVI”を導入し、各病院から届いた求人や各病院が直接入力した求人情報を掲載しており、学生への就職情報ツールとして役立てている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では学生の心身の健康を保持・増進するために、保健管理室が主に学生の身体的サポートを行い、学生相談室が生活面を中心に心理的な問題を広く支援している。</p> <p>保健管理室では、学生が健康を維持して学業に専念できるように援助することを目的としている。この目標を達成するために、保健管理室委員会を設置している。</p> <p>また、学生相談室では、学生生活の中で生じる様々な問題について、未然に防止したり、問題解決を通じて学生自身が成長できるように支援することを目標としている。この目標を達成するために、学生相談室運営委員会を設置している。</p> <p>その他に、障害のある学生に対して、公正な教育を保障し、修学及び学生生活における支援を積極的に推進することを目的に、障害学生修学支援委員会を設置している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ <http://univ.aino.ac.jp/info/>